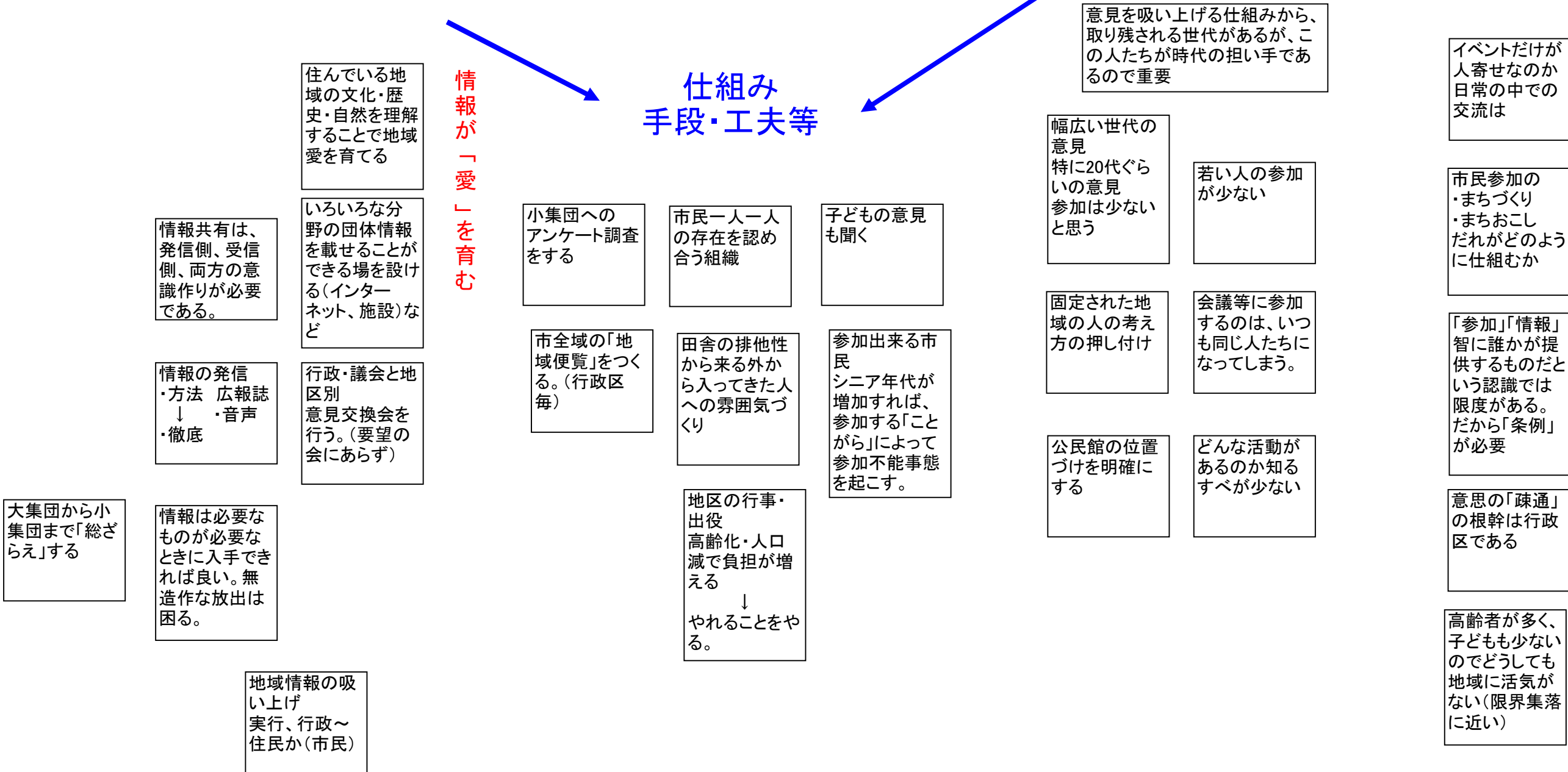


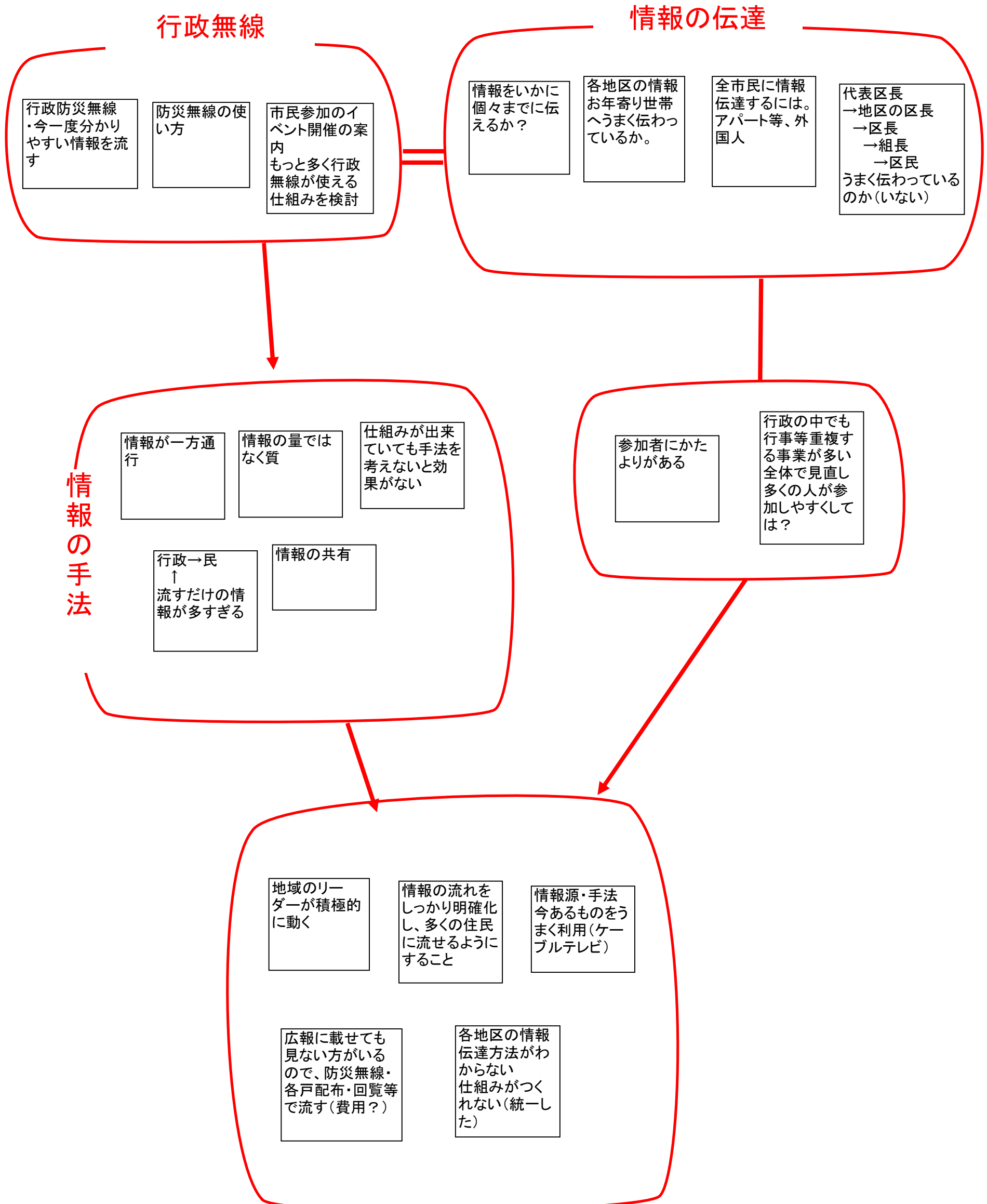
① 情報に関する課題

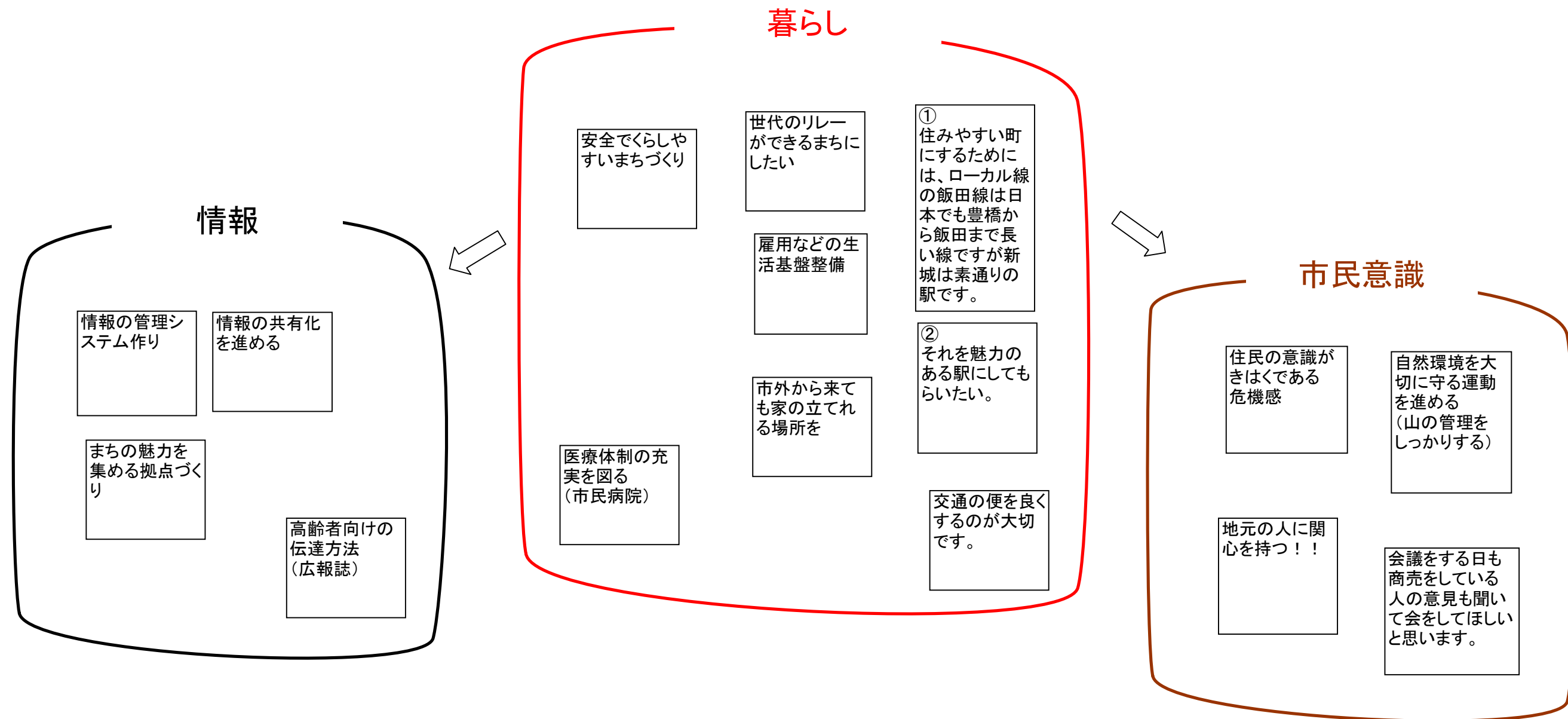
①-2 参加に関する課題

情報が「愛」を育む

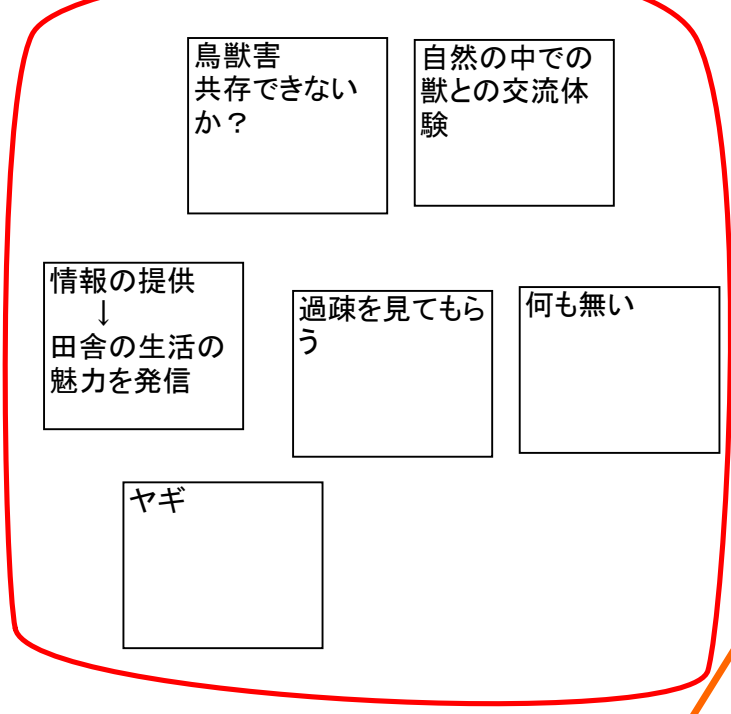
仕組み  
手段・工夫等



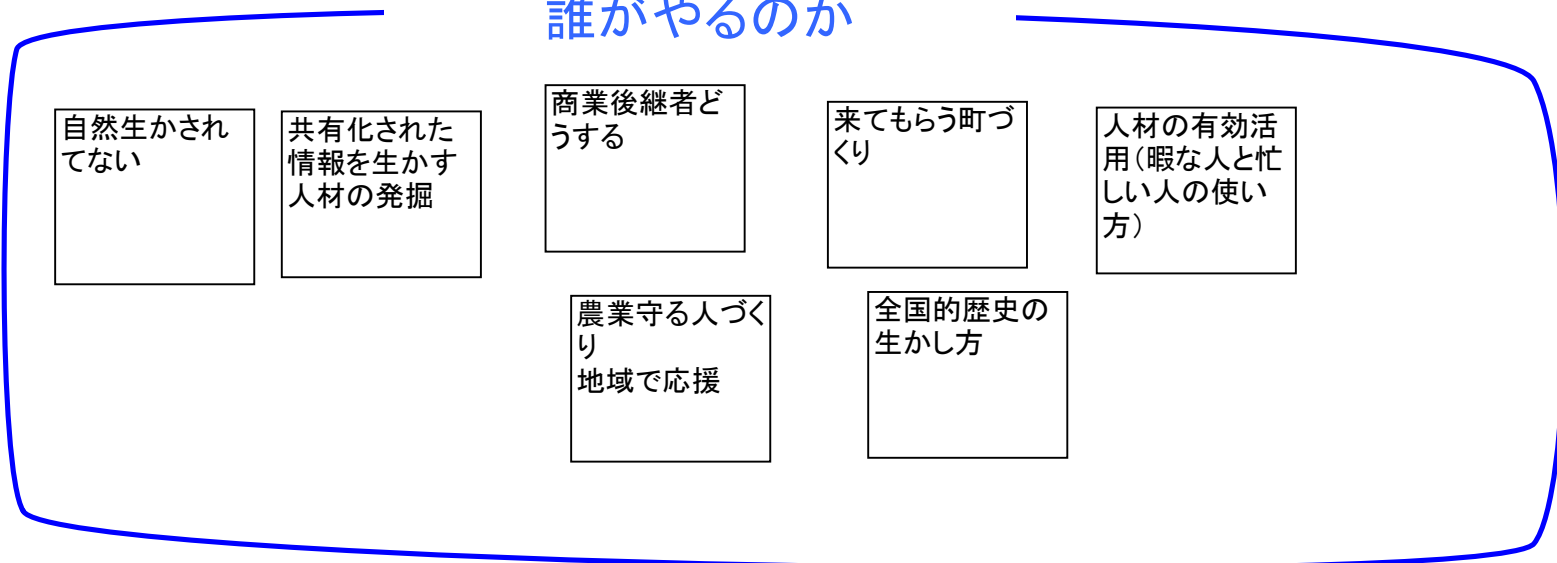




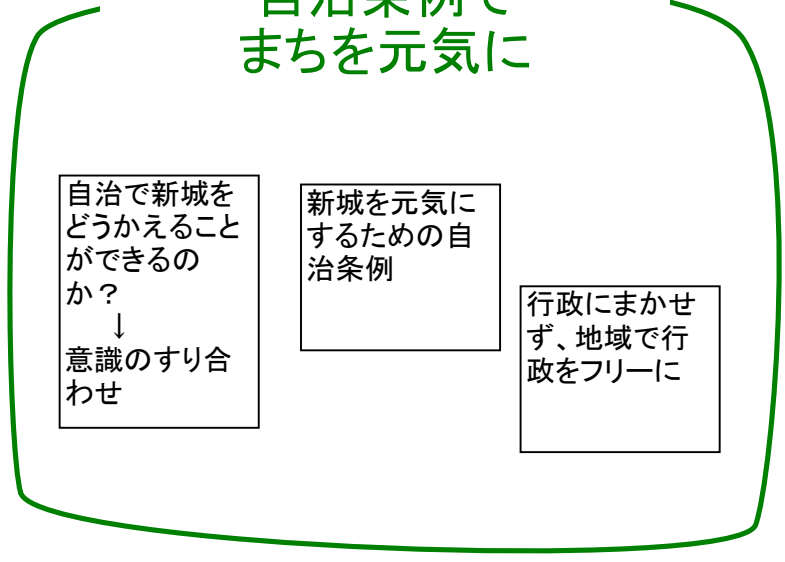
### マイナスをプラスに



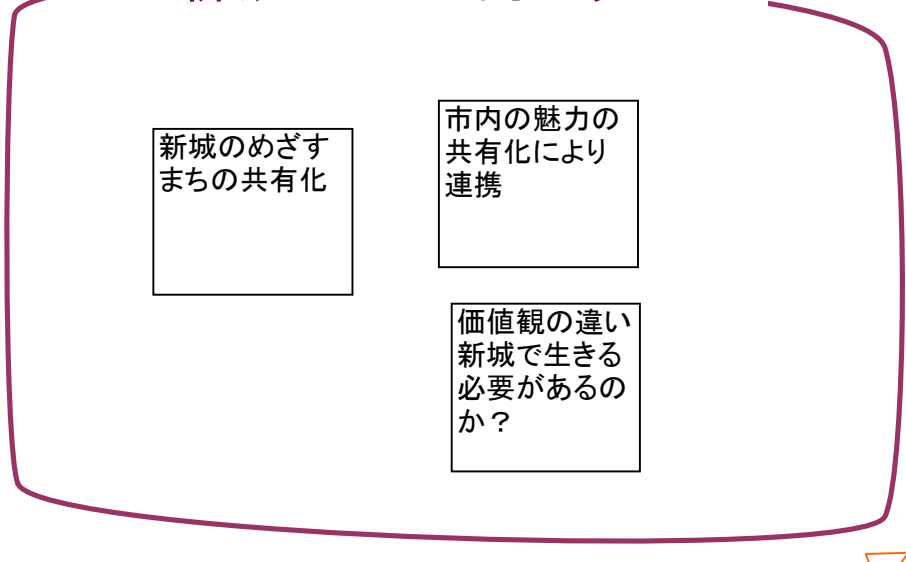
### 誰がやるのか



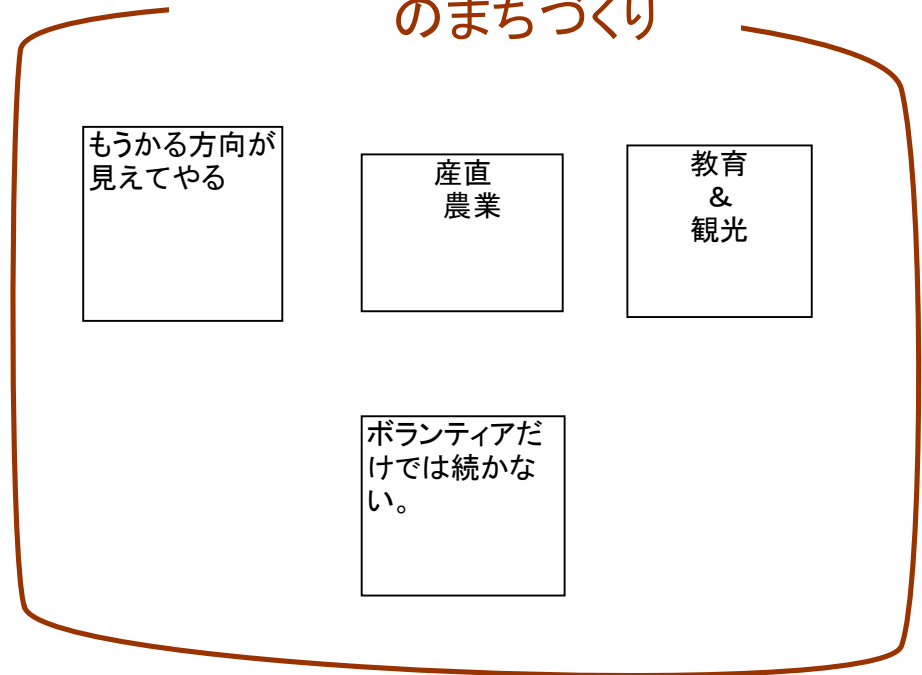
### 自治条例で まちを元気に



### 新城はどこに向かうのか



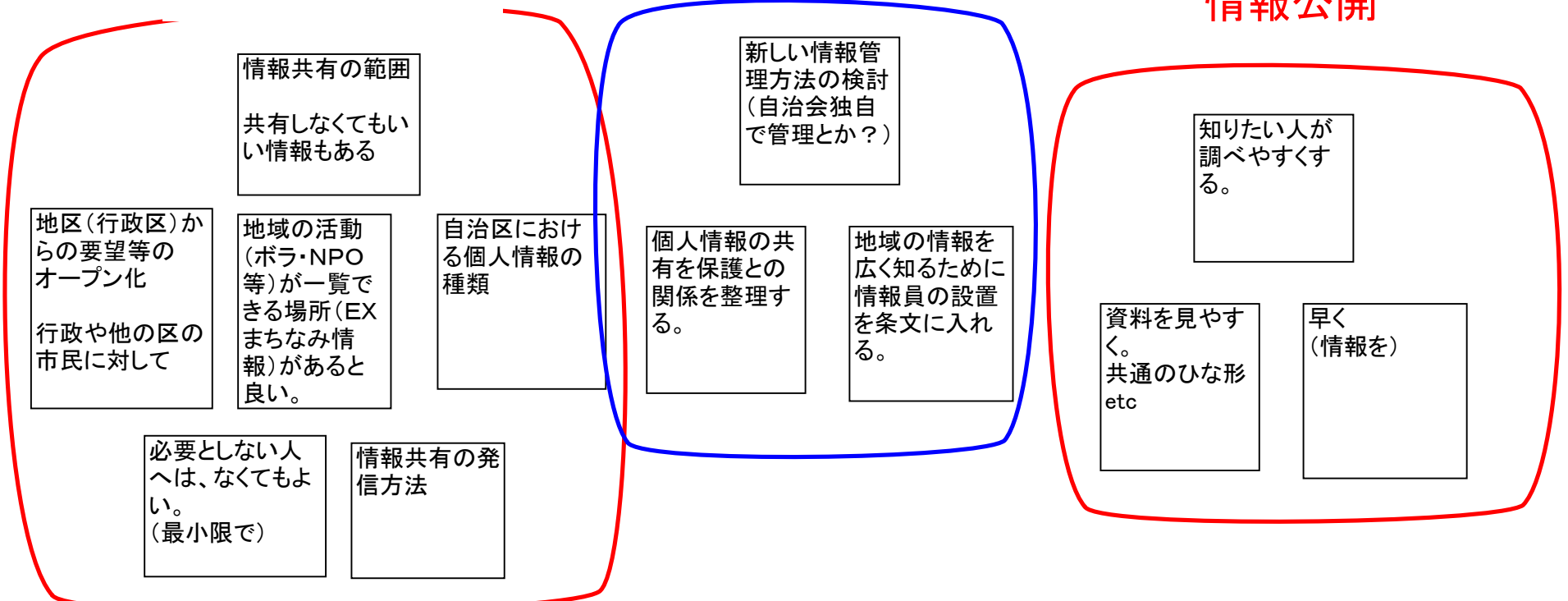
### 経済あつてのまちづくり



### 管理

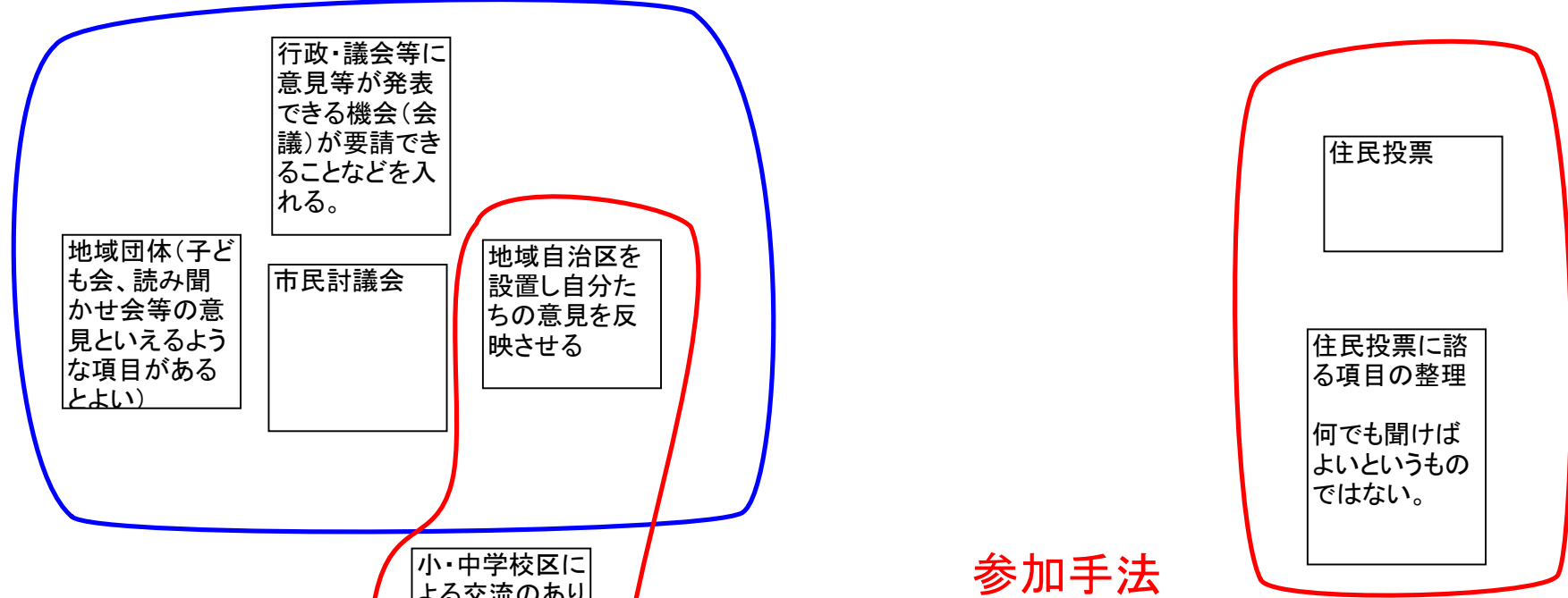
### 情報共有の範囲

### 情報公開



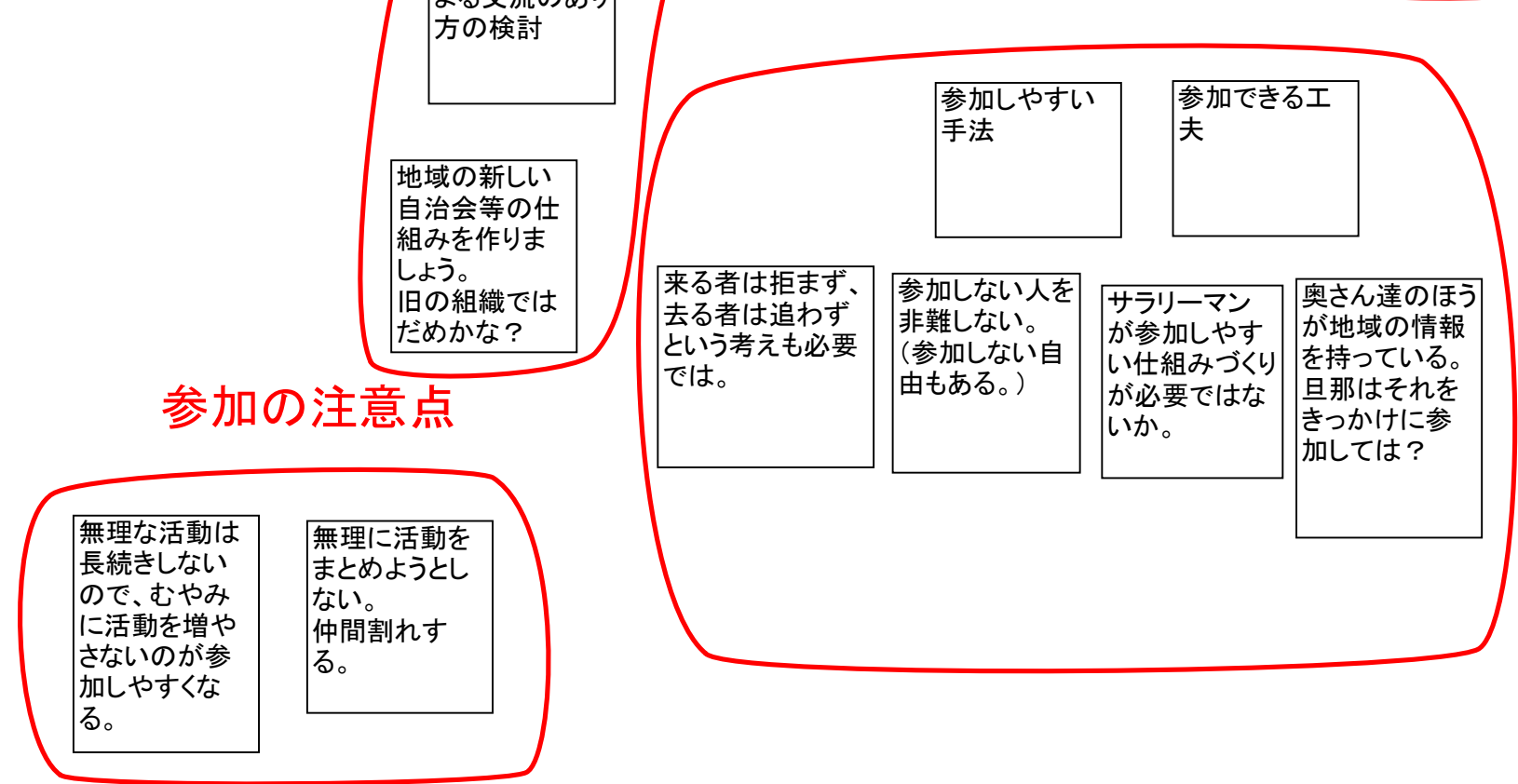
### 意見反映の新しい方法

### 住民投票



### 参加手法

### 参加の注意点



### 市民と行政のつながり

#### 情報の集まる 情報を提供 場

どこに何があるのか。  
どこに行けばどこに連絡するのか。

1) 情報提供  
どこで情報が取れるか  
「情報提供の場」  
・行政  
・団体  
・一般、サークル  
etc

人はどんな情報を求めているか

情報の場

知りたいことをどこへさがしに行くか？

「情報」が集まる「場」があるか？

地域の情報共有機会

#### 共有

情報の共有  
・知りたい情報を簡単に手に入れる仕組み

1) 情報提供  
・提供には限界制限があることを理解  
・時間、期間  
・内容  
・対応

情報の共有  
・知らせたい情報を簡単に発信できる仕組み

市民病院の現状を将来どうするかの問いかけ

#### 人にやさしいまちか？

情報の発信受信が困難な人にどう対応する？

地域での役割・責任を果たす

できること  
できないことをはっきり伝える  
(行政から)

地域(主民)でできることは話し合ってやる

①地域団体の情報共有と参加について  
現在の行政区を基本にそれぞれの役割を活性化させる。  
各役割ごとの委員会を自治区単位で開き、行政との協働を強化

伝えなければならない情報

双方向の話し合い  
検討の場をもうける

任せる  
任せられる

地域(区)内で情報の共有をどうするか？

#### 公開

情報公開の仕組み

議会傍聴のとき、資料配布回収しない  
予算・決算などの説明会

#### 井戸端会議

異年齢の人たちが交流できる機会ある？  
ない？  
つくる？

情報井戸端会議少ない、多い？  
近所と付き合い

3) 活動拠点  
簡単手続き  
お気軽利用  
低料金

3) 「たまり場」づくり  
↓  
井戸端

テーマを決めた  
茶話会をやる

市民団体の活動や提案を話し合う場

地元企業商店の意見(商工会)交流

③情報や参加をうまくすすめる手法  
小さな単位で繰り返し訓練することで自主的な方策が生まれる。

#### 支援・サポート

3) 参加・活動期限の明確さ  
↓  
継続活動を期待しない  
”一種無責任”  
=やっている間は真剣=

活動をつなげるコーディネーター

活動を支援するアドバイザー

1) 活動内容を知ってもらい場づくり⇒参加  
・活動発表会  
・CATV  
・広報ほのか

②市民団体について  
自主的な団体であるためとしてバックアップが必要  
バックアップの体制には役所の職員だけではなく、一般からの参加が必要

#### 地域自治をすすめるために！

市民会議or市民委員会の設置

市長ブログにあること参考になる

#### 市民自治 実行委員会